



これまでの「輝け！おばねっ子」は上のQRコードからご覧いただくことができます

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

※毎週月曜日発行予定です

「ただ君がいるだけの幸せ」 子供は宝物です

次に示すのは、障がいのあるお子さんをもつお母さんが書いた詩です。

あなたの息子は あなたの娘は あなたの子どもになりたくて生まれてきました
生意気な僕を 叱ってくれるから 無視した私をさとしてくれるから

(略)

おかあさん

ぼくのおかあさんになる準備をしてくれていたんだね

私のおかあさんになることがきまっていたんだね

だから、ぼくは、私は、

あなたの子どもになりたくて生まれてきました



親は子供を選ぶことはできず、子供も親を選ぶことはできません。それでも、この詩を読むと、親も子も見えない糸でひかれ合い、親子になったのではないかと思います。

私には子供が2人います。子育て中は「なぜ、分かってくれないのか」「なぜ、言うことを聞いてくれないのか」などと、必要以上にイライラ過ごすことがしばしばありました。子供を「何とかしよう」と、とにかく必死でした。しかし、子育てを終えた今「子供がいたことで、喜んだり、怒ったり、哀しんだり、楽しんだりできた。豊かで充実した幸せな日々だった」としみじみ感じています。子供のおかげで、自分も少し成長できたでしょうか？

子供のよさも欠点もすべて受け入れ、「『ただ君がいるだけ』でありがたい。幸せだなあ。」という気持ちをずっと持ち続けたいものです。

今、目の前にいる子供たち。保護者の方はもちろん、地域の方も含めたすべての大人が、子供たちを慈しみ、大事に見守っていく。やがて子供たちが大人になったときに、次の子供たちに同じように惜しみない愛情を注いでいく。そんな「愛情のバトン」が受け継がれていくことを切に願います。

このたび異動となり、3年間の尾花沢市教育委員会勤務を終えることとなりました。

おかげさまで、計133号(2年間)の教育委員会通信を発行することができ、読者のみなさまと共に、子育てについて考える機会を与えていただきました。

時には、あたたかい励ましの言葉を、時には厳しいお叱りの言葉をいただきました。すべて、おばねっ子の健全な成長を心から願っておられる読者のみなさまのありがたい言葉と受け止めております。

今後も、おばねっ子が笑顔で輝けるよう、これまでと同様、学校への応援をよろしくお願いいたします。

3年間、ありがとうございました。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330